

授 業 科目名	【 G カリキュラム】 民法(契約)Ⅰ ※本年度は開講せず		その他参照	開講年次	【 G】 2 【EF】 2	単位数	【 G】 2 【EF】 2
科目区分	専門科目：【 G】 教科及び教科の指導法に関する科目（－・－・－・－・）／【EF】 教科及び教科の指導法に関する科目（－・－・－・－・）						
担当形態	単独	【 G】 教員の免許状取得のための（－・－・－・－・）科目 【EF】 教員の免許状取得のための（－・－・－・－・）科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	契約法総則(契約総論)のルールとしくみを学ぶ			担当者	関 義央		
授業概要	【概要】 民法において代表的な債権発生原因である「契約」の中でも講学上「契約総論」と呼ばれる部分(民法 521～548 条の契約法総則)を中心に契約法のルールとしくみを学ぶ。なお、本講義の対象には 2017 年に制定された「民法（債権関係）改正法」の規定が含まれていることから（2020 年 4 月 1 日施行予定）、本講義でも改正法の解説を中心に据える。						
	【到達目標】 1．契約総論のルールとしくみについて理解し、他者に説明できる。 2．裁判で実際に問題となった事例を参考に、法の解釈・適用ができるようになる。						
履修条件	民法概論、民法総則Ⅰ・Ⅱ、物権法、不法行為法を履修済み、または並行履修することが望ましい（絶対条件ではない）。引き続き契約法Ⅱも履修すること。						
教科書・参考書	【教科書】 松井和彦＝岡本裕樹＝都筑満雄『契約法』（日本評論社、2018 年）・平成 31 年版の小型六法（出版社は問わない。判例付きでなくてもよい） 【参考書】 必要に応じて授業中に指示する。						
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス・債権各論序説						
	予習：契約について自分が持っているイメージを確認する。			復習：講義内容の再検討			
2	契約法・契約総論序説						
	予習：社会における契約の機能を考える。			復習：講義内容の再検討			
3	契約の種類						
	予習：民法上の契約類型を調べる。			復習：講義内容の再検討			
4	契約自由の原則とその修正						
	予習：私的自治の原則と契約自由の原則について調べる。			復習：講義内容の再検討			
5	契約の成立						
	予習：契約の成立要件を調べる。			復習：講義内容の再検討			
6	定型約款						
	予習：約款の意義及びいかなる場合に作成・使用されるか調べる。			復習：講義内容の再検討			
7	契約の効力総説・契約前の責任						
	予習：原始的不能について調べる。			復習：講義内容の再検討			
8	同時履行の抗弁権						
	予習：同時履行の抗弁権とは何か調べる。			復習：講義内容の再検討			
9	危険負担						
	予習：危険負担とはいかなる制度か調べる。			復習：講義内容の再検討			
10	契約の拘束力と事情変更の法理						
	予習：事情変更の法理とは何か調べる。			復習：講義内容の再検討			
11	第三者のためにする契約						
	予習：第三者のためにする契約の意義を調べる。			復習：講義内容の再検討			
12	契約の解除						
	予習：解除制度の目的を調べる。			復習：講義内容の再検討			
13	解除の類型とその要件						
	予習：解除はいかなる場合に認められるか調べる。			復習：講義内容の再検討			
14	解除の効果						
	予習：解除の遡及効とは何か調べる。			復習：講義内容の再検討			
15	総括と学習到達度確認テスト						
	予習：これまでの講義内容の総復習			復習：講義内容の再検討			
評価方法	学習到達度確認テストの成績（90％）と授業への参加態度（10％）により総合評価する。ただし、ほかにレポートを課し、その成績を加味する場合もある。詳細は第 1 回の講義で説明する。						
評価基準	上記授業単元の内容について、概略を理解した者については「C」とし、その背景や理由等も理解した者については「B」、さらに、主要な学説や判例を理解し、自己の見解を適切に表現できた者については「A」（うち特に優れたものには「S」）とする。単元の内容についての理解が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」、評価不能の場合は「F」とする。						
その他	・携帯電話は電源を切るか、マナーモードにすること。 ・私語は厳禁。悪質な場合は退室を命じ、以後の受講を認めない。 ※G 判：法【－】条 [°] 【－】情【－】／EF 判：法【－】条 [°] 【－】経【選択必修（β）】						